

2-2. 演習科目の履修について

(1) 担当者一覧

法律学科

演習分野	担当者	単位	受講年次	備考
民事法	大澤 彩	4	3・4	
	川村 洋子	4	3・4	
	久保 健治・畑中 綾子	8	3・4	
	倉部 真由美	4	3・4	
	杉本 和士	4	3・4	
	高須 順一	4	3・4	
	廣尾 勝彰	4	3・4	
	宮本 健蔵	4	2・3/3・4	
商事法	青柳 由香	4	3・4	
	荒谷 裕子	8	3・4	
	神谷 高保	4	3・4	
	柴田 和史	4	3・4	
	武生 昌士	4	3・4	
	椽川 泰史	4	3・4	
	潘 阿憲	4	3・4	
公法	金子 匡良	4	3・4	
	國分 典子	4	3・4	
	高橋 滋	4	3・4	
	建石 真公子	4	3・4	
	田中 佐代子	4	3・4	
	堀井 雅道	4	3・4	
	西田 幸介	4	3・4	
	森田 章夫	4	3・4	
刑事法	安東 美和子	4	3・4	
	今井 猛嘉	8	3・4	
	佐藤 輝幸	4	3・4	
	佐野 文彦	4	3・4	
	須藤 純正	4	3・4	
	田中 開	4	3・4	
社会法	沼田 雅之	4	3・4	
	浜村 彰	4	3・4	
	藤本 茂	4	3・4	
	水野 圭子	4	3・4	
	山本 圭子	4	3・4	
基礎法	春代講:西村 清貴 秋:大野 達司	8	3・4	
	小山田 朋子	4	3・4	
	金井 光生	4	3・4	
	川口 由彦	8	2・3/3・4	
	高 友希子	4	2・3/3・4	

政治・国際政治学科

担当者	単位	受講年次	備考
明田川 融	8	2~4	
浅見 靖仁	8	2~4	
大内/油本	8	2~4	
犬塚 元	8	2~4	
衛藤 幹子	8	2~4	
木村 正俊	8	2~4	
坂根 徹 代講:田辺 亮	8	2~4	
新川 敏光	8	2~4	
杉崎 和久	8	2~4	
杉田 敦	8	2~4	
高橋 和宏	8	2~4	
新崎 盛吾	8	2~4	
塚本 元	8	2~4	
中野 勝郎	8	2~4	
名和田 是彦	8	2~4	
菱田 雅晴	8	2~4	
廣瀬 克哉	8	2~4	
八塚 正晃	8	2~4	
細井 保	8	2~4	
本多 美樹	8	2~4	
水野 和夫	8	2~4	
溝口 修平	8	2~4	
宮崎 伸光	8	2~4	
宮下 雄一郎	8	2~4	
武藤 博己	8	2~4	
森 聡	8	2~4	
山口 二郎	8	2~4	
山本 卓	8	2~4	
弓削 昭子	8	2~4	

(2) 演習科目履修における注意事項

■ 法律学科

ほとんどの演習は3年次から開講しますが、2年次生が履修できる演習もあります。担当教員によって履修できる年次が異なるので注意してください。

政治学科・国際政治学科の教員が担当する演習も履修できますが、担当教員の許可が必要です。演習はどの学科の演習を履修しても、自学科の選択科目としての扱いとなります。

〔政治学科・国際政治学科の演習を受講する場合の注意〕

政治・国際政治学科の演習の履修は、政治学科生、国際政治学科生が優先されます。法律学科生がこれらの演習の履修を希望する場合は、政治学科・国際政治学科ゼミ選考が終了し、受講者数に余裕があった場合のみ履修可能となりますので注意してください。

① 演習履修科目数

1年間に履修できる科目は1科目8単位までです。卒業までに2科目16単位まで履修できます。担当教員によって1科目4単位の演習と1科目8単位の演習がありますが、1年間に履修できるのは1科目、卒業までに履修できるのは2科目までです。8単位の演習は、あくまでも1科目として考えるので必ず8単位(週2時限)履修してください。

② 募集・選考

秋学期に募集、選考を行います。情報ポータルサイト(Hoppii)内WEB掲示板を確認し、その指示に従ってください。

③ 演習の聴講

演習の登録は原則として1年間に一つの演習に限られますが、複数の演習に参加して幅広い学習を希望する方のために聴講制度があります。ただし、担当している教員の許可がなければ聴講することはできません。聴講を希望する学生は、聴講の可否を講義概要等で確認し、聴講生としての許可を必ず受けてください。

④ その他

(a) 演習は単年度の授業科目であって、必ずしも継続するとは限りませんので注意してください。

(b) 演習は年間科目です。原則として春学期のみ、秋学期のみの履修はできませんが、派遣留学や休学等の事情により、教員が認めた場合に限り、履修を認めることがあります。この場合、履修登録期間内に事務まで相談してください。

■ 政治学科

①演習(選択科目)の受講年次等

2012年度以降入学の政治学科生は、2年次以降で履修します。なお、4年次生には卒業論文・リサーチペーパーが設置されています。

- ・ 法律学科、政治学科・国際政治学科の区別は、演習科目一覧を参照してください。
- ・ 演習科目は、政治学科・国際政治学科どちらの教員の演習を履修しても、自学科の選択科目扱いとなります。
- ・ 法律学科の演習を履修することも可能です。なお、法律学科の演習を受講する場合は自由科目となり、演習を履修する際には、法律学科生と同じゼミ選考を受け教員の受講許可を得る必要があります(法律学科の演習は1年間に1科目のみ、また卒業までに2科目まで履修が可能です)。

②演習履修科目数

演習は春学期科目と秋学期科目に分割されていますが、1年間を通して同一の教員の演習を履修することが前提となります。詳細は④の演習の「履修登録について」を参照してください。

1学年(留級した場合を除く)にあたり、履修できるのは2科目(春学期1科目、秋学期1科目の計2科目)で、卒業までに履修できるのは24単位までです。1年間で8単位の演習は、あくまでも1つの演習として考えるので必ず8単位(週2時限)履修してください。ただし同一教員の演習を連続で履修できるのは2年間まで、3年目の演習履修を希望する場合は、再度ゼミ選考を受ける必要があります。

③募集・選考

1年次秋学期に募集、選考を行います。法政ポータルサイト(Hoppii)内 WEB 掲示板を確認し、その指示に従ってください。

④演習の履修登録について

演習は、同一の教員の演習を2年間を上限に履修登録できます。

演習は科目としては春学期と秋学期に分かれています。春秋通して同一教員の演習の登録が必須となります。

秋学期の登録変更期間に演習の変更をすることはできません。必ず1年間同一の教員の演習を登録してください。

(例) 春学期 演習(A先生) 秋学期 演習(A先生):○
春学期 演習(A先生) 秋学期 演習(B先生):×

秋学期の登録変更期間に演習の変更をした場合は、それ以降(翌年度以降も含む)の演習の履修を認めませんので注意してください。

⑤その他

演習は単年度の授業科目であって、必ずしも継続するとは限りませんので注意してください。

■ 国際政治学科

①演習(選択科目)の受講年次等

国際政治学科生は、原則2・3年次で、演習(16単位)を必修科目として履修します(2年次または3年次で単位が未修得の場合は4年次での受講も可能)。なお、4年次生には卒業論文・リサーチペーパーが設置されているので詳細についてはP64を参照してください。

- ・ 国際政治学科または政治学科教員が担当する演習を16単位分必ず履修することになります。
- ・ 担当教員は、演習科目一覧表を参照してください。
- ・ 法律学科の演習は必修科目となりません。法律学科の演習を履修することは可能ですが、その場合、別途政治学科または国際政治学科の演習(必修)を16単位分修得する必要があります。なお、法律学科の演習を受講する場合は、自由科目となり、演習を履修する際には、履修する前年度に実施されるゼミ選考を受け、担当教員の受講許可を得る必要があります(法律学科の演習は1年間に1科目のみ、また、卒業までに2科目まで履修が可能です)。

②演習履修科目数

演習は春学期科目と秋学期科目に分割されています。留学などのために春学期の演習しか受けられない学生は、帰国後に秋学期のゼミを履修することが可能となります。ただし、原則として春学期と秋学期は同一の教員が担当する演習を履修してください。詳細は④「演習の履修登録について」を参照してください。

国際政治学科生は、2・3年次にそれぞれ春学期1科目、秋学期1科目の計2科目8単位、卒業までに4科目16単位を履修するのが基本的な履修パターンとなります(法律学科教員の演習は除く)。1科目が4単位の演習は、あくまでも1つの演習として考えるので、必ず各学期に4単位(週2時限)ずつ履修してください。

③募集・選考

1年次秋学期に募集、選考を行います。法政ポータルサイト(Hoppii)内 WEB 掲示板を確認し、その指示に従ってください。

④演習の履修登録について

4科目16単位を上限に同一の教員が担当する演習を履修登録できます。演習は科目としては春学期と秋学期に分かれていますが、同一の教員が担当する演習を履修することが原則であり、秋学期の登録変更期間に履修する演習を変更することはできません。これは、留学などの事情により、異なる年度にわたって春学期と秋学期のゼミを履修する場合も同様です。

- (例) 春学期 演習(A先生) → 秋学期 演習(A先生):○
春学期 演習(A先生) → 秋学期 演習(B先生):×

⑤その他

- (a) 演習は単年度の授業科目であって、必ずしも継続するとは限りませんので注意してください。
- (b) 演習は4科目16単位を修得することが原則ですが、やむを得ない事情により4年次の時点で演習(必修分)の未修得単位がある場合は、「卒業論文」または「リサーチペーパー」の単位を修得することで演習(必修分)の単位に代替することも可能です。詳細は「卒業論文・リサーチペーパーについて」を参照してください。